

### 取組の背景と目的

#### 1) 地域と共生する大学としての実績

2011年に「右京区大学地域連携に関する協定」を締結し「地域連携推進センター」が全学的に地域連携を推進している。

#### 2) 大学教育再生プログラム (AP) の実績

短期大学部は「地域連携を織り込んだアクティブラーニングの実践」を行い「短大フォーラム」の立ち上げや「地域連携型教育」を全国的に周知している。



### 地域連携活動の範囲拡大

#### アクティブラーニングの全学的展開

- ①右京区他、京都中心部を拠点に連携拡大  
まちやサテライトキャンパスの活用
- ②地域企業や組織との連携強化  
地域連携型教育（正課）の拡大
- ③卒業生や地域住民の再就職実践教育  
実践型インターンシップの開拓
- ④京都地場産業の啓発と継承  
伝統産業継承プログラムの開発

### 特徴的な取り組み報告

#### まちやキャンパスの開所式と記念公演

「京で学び・京で働き・京に暮らす」女性を増やすことを目指し2020年10月30日「富小路まちやキャンパス」開所記念式典と記念公演を実施



式典後には京都市在住の落語家桂文也氏の公演を地域の方とともに鑑賞

#### 地域に伝統的に根付く活動の重要性を学ぶ

自治活動を積極的に行っている富有学区自治連合会の地域活動として体育振興会・自主防災会・消防分団などが主催する活動イベントのお手伝いや参加を地域の方と一緒に実施



連携先 京都市中京区富有自治連合会  
京都市中京区社会福祉協議会

#### 女子大生の視点で商店街の魅力を発掘

商店街や周辺地域を訪れ、地域を理解するためのベンチマークを行い、学生にとって身近なSNSを通じて商店街のアピール方法を写真や動画をまとめて商店街に報告



連携先 今熊野商店街振興組合  
京都府商店街創生センター



# 京で学び・京で働き・京に暮らす

～ 地域連携型プログラムの展開 ～

## 事業の実実施計画と実績

### ●アクティブラーニングを織り込んだ「地域連携型教育の拡大」

APで実績のあるアクティブラーニング手法を他の科目に展開し、さらに地域と連携した教育プログラムを増やす。

#### 計画 令和5年度まで段階的に地域連携科目を拡充する



#### 実績 令和3年度までの実施状況

- 10科目の地域連携科目を開講
- 短期大学の必修科目に地域連携科目を開講  
令和3年度受講実績は、延べ221名

#### 今後の予定

- 令和4年度までに12科目の開講を予定

### ●まちやキャンパス活用 地域連携の活動範囲を広げる

#### 計画



#### 実績 令和3年度までの実施状況

令和2年10月まちやキャンパスの開所し、感染防止対策として人数制限の上、記念セミナーを実施。令和3年は、正課科目で8回、その他「まちづくり講座」など9回の活用。コロナ中止はあったものの、当初計画を上回る17回の活用を行った。学生が地域連携で企画した公開イベントではベントでは、2日間で115名が来場

### ●リカレント教育の拡充 卒業生を始めとした地域住民の再就職・キャリアアップを支援する

#### 計画

令和2年 1day・2dayインターンシップ実施  
令和3年 実践型インターンシップの試行  
令和4年 伝統産業に関わる卒業生調査  
令和5年 実践型インターンシップ科目化検討  
伝統産業継承プログラムの企画

#### 実績 令和3年度までの実施状況

・実践型インターンシップに向けて、令和3年度京都中小企業家同友会事務局と意見交換を実施。令和4年度リカレント教育の履修者決定後にマッチングに向けた事前面談を実施予定  
・就職支援センターと協力し卒業生の就職先リストを整理。伝統産業に関わる卒業生にインタビュー実施。リカレント教育充実を検討中